

ベルフォート美容専門学校

自己評価報告書

(2024年度)

学校法人まこと学園

ベルフォート美容専門学校

1.学校の教育目標

【校訓】

至誠一貫

【教育目標】

社会に愛され貢献できる人材の育成

【ビジョン】

全国から人が集まる人気校へ！

～岐阜でもできる！ベルフォートならできる！～

開校以来初の2年連続入学定員充足率100%で迎えることができた。ここ2～3年にわたる統一したいイメージでのブランディングが浸透し効果が出てきている。また、美容師国家試験合格率100%という実績が学生募集をしていくうえで強く言い切る事が出来たのも大きい。外国人モデルを使用したパンフレットやDMなどの販促物でという統一したブランディングイメージを高校生に刷り込んでいき、今年度もオープンキャンパスへの参加への集客、クロージングの流れを確立していく。

教務に関しては、美容師国家試験合格率100%という実績を作る事ができ、SABFAの夏休み短期スペシャルセミナーの開催、初めての全国学生技術大会でまつエク部門&デッサン部門でのダブル優勝という実績を作る事ができた。

課題としては、一年生の退学者が例年に無く多く(10名)進級率87%であり、次年度は退学防止を第一に取り組んでいく。就職内定率も100%でサポートできているので、就職サポートだけでなく、卒業生の離職に関しても、卒業生追跡調査を行い。辞めない就職指導、日々の教育指導の中で流れを作っていききたい。

国家試験合格率100%・就職内定率100%・駅から通いやすなど『学校のスペック』は高く当たり前。今後より一層の少子化が進む『教育のレベルアップ』を図り、全国から高校生が集まる唯一無二の人気美容専門学校を目指す。

また、3年目、4年目などさらに美容を学びたい、技術を身に付けたい子たちを対象としたプロフェッショナルコース(仮名)を作る準備を進めていきたい。

(1)教育理念・目標

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1
○学校における職業教育の特色は何か。	4	③	2	1
○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか。	4	③	2	1
○学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構造などが学生・保護者等に周知されているか。	4	③	2	1
○各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	③	2	1

①課題

・職業に役立つ人材育成を具体的に構築する必要があると感じている。

②今後の改善方策

・技術の習得だけでなく、どのような人材が業界から求められているのかを明確にしていく。

③特記事項

・教育目標や教育理念をもっとわかりやすく具体的に学生に示していきたい。

(2)学校運営

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	③	2	1
○運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	③	2	1
○運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	③	2	1
○人事・給与に関する規程等は整備されているか。	4	③	2	1
○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	③	2	1
○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	②	1
○教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	③	2	1
○情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	②	1

①課題

・コンプライアンス体制については常に見直していく必要性を感じている。

②今後の改善方策

・コンプライアンス研修の導入など検討。

③特記事項

(3)教育活動

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	③	2	1
○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	③	2	1
○学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	④	3	2	1
○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	③	2	1
○関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4	③	2	1
○関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	③	2	1
○授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	③	2	1
○職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	③	2	1
○成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	③	2	1
○資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	③	2	1
○人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	③	2	1
○関連分野における業界等との連携においてすぐれた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	③	2	1
○関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。	4	③	2	1
○職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	③	2	1

①課題

- ・成績評価について学生本人、保護者に対してわかりやすくなっているか再検討したい。
- ・学生による授業評価に対する改善策が万全ではないと感じる。

②今後の改善方策

- ・授業評価の方法の見直しと、結果に基づく検討会の在り方を見直す。

(4)学習成果

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○就職率の向上が図られているか。	④	3	2	1
○資格取得率の向上が図られているか。	4	③	2	1
○退学率の低減が図られているか。	4	③	2	1
○卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	②	1
○卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	③	2	1

①課題

・国家試験合格률을あげる。

②今後の改善方策

・国家試験対策の方法の見直しと、実技・学科の傾向と対策を強化していく。

--

(5) 学生支援

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	③	2	1
○学生相談に関する体制は整備されているか。	4	③	2	1
○学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	④	3	2	1
○学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	3	②	1
○課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	③	2	1
○学生の生活環境への支援は行われているか。	4	③	2	1
○保護者と適切に連携しているか。	4	③	2	1
○卒業生への支援体制はあるか。	4	3	②	1
○社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	③	2	1
○高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	②	1
○関連分野における業界との連携による卒業後の再教育プログラム等を行っているか。	④	3	2	1

①課題

・離職の問題。就職した企業等の就業環境について学校が知っておく必要があるのではないか。

②今後の改善方策

・離職理由の確認体制を作る。企業との連携をはかる。

③特記事項

・担任を中心に学生の出席状況や授業態度などに気を配り、退学の防止に心がけている。

(6)教育環境

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4	③	2	1
○学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4	③	2	1
○防災に対する体制は整備されているか。	4	③	2	1

①課題

・年々災害が多くなってきている状況を踏まえ、学生の安全を第一に考えた防災対策の構築が急務。

②今後の改善方策

・学校独自ではなく、施設全体の防災体制を再確認し、緊急事態に備えた防災訓練を実施する。

(7)学生の受入れ募集

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか。	④	3	2	1
○学生募集活動は、適正に行われているか。	④	3	2	1
○学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	③	2	1
○学納金は妥当なものとなっているか。	4	③	2	1

①課題

・多様化する美容の職種に対して高校生が望む将来の職業や働き方について、正確に説明ができていないか。

②今後の改善方策

・学生募集担当者だけでなく、教職員全員で美容業界について再度学びなおし、正しい知識を共有する。

③特記事項

(8) 財務

評価項目	評価結果			
	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1			
○長中期的な学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2	1
○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2	1
○財務について会計監査が適正に行われているか。	4	③	2	1
○財務情報公開の体制整備はできているか。	4	③	2	1

①課題

②今後の改善方策

・財務情報の迅速な公開。長期的な財務基盤安定のための学生募集計画、人員計画を策定する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	自己評価			
○法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。	4	③	2	1
○個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	4	③	2	1
○自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	③	2	1
○自己評価結果を公開しているか。	4	③	2	1

①課題

・個人情報の取扱いなど、教職員全体での意識の統一。

②今後の改善方策

・自己評価結果の迅速な公開と課題への対策をしっかりと行っていく。
・個人情報取り扱いについて教職員の研修を再度実施する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価			
○学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	③	2	1
○学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	②	1
○地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	4	③	2	1

①課題

・昨年同様、学生のボランティアや社会貢献について推進できていない。

②今後の改善方策

・美容業界で被災地や途上国でボランティアを行っている企業の方等の話を聞く機会を設ける。

2024 年 10 月 7 日

ベルフォート美容専門学校
2024 年度学校関係者評価報告書

1. 開催日時 2024 年 10 月 7 日(月) 17 : 00～17 : 45

2. 開催場所 ベルフォート美容専門学校内

3. 出席者

学校関係者評価委員	所属名	役職名
山本 照保	山本株式会社	取締役会長
山本 敏裕	セントラルヘアモード 職業訓練会	会長

学校教員・事務局	役職名
長尾 拓朗	学 校 長
岩崎 恵美子	事務局長

4. 会次第

1. 開会宣言
2. 資料の確認
3. 学校長挨拶
4. 委員の紹介
5. 学内施設見学
6. 自己評価結果報告
7. 意見交換
8. 閉会宣言

5. 意見交換・評価結果

- ①学校内の掲示（就職関係・学校行事関係）や授業見学を行った。
- ②国家試験に向けた学校の取り組みや学生の様子などについて報告を行った。

③評価項目ごとに評価委員による審査を行った。

(1) 教育理念・目標 . . . 評価結果 : 3

- (2) 学校運営・・・・・・・・・・評価結果：3
- (3) 教育活動・・・・・・・・・・評価結果：3
- (4) 学習成果・・・・・・・・・・評価結果：3
- (5) 学生支援・・・・・・・・・・評価結果：3
- (6) 教育環境・・・・・・・・・・評価結果：3
- (7) 学生の受入れ募集・・・・評価結果：4
- (8) 財務・・・・・・・・・・評価結果：3
- (9) 法令等の遵守・・・・・・・・評価結果：3
- (10)社会貢献・地域貢献・・評価結果：3

【意見】

(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営

(山本照保氏)

今年度は定員いっぱいには至らなかったが、ほぼ定員に近い入学生が集まった。ベルフォートの認知度が上がった結果なのか、そのあたりの分析について確認したい。

(学校)

数年前から体験入学の在り方や、親子説明会の実施、パンフレットの見直しなどを行ってきた。そうした中で高校生や保護者に対して、ベルフォートの理念や教育環境に対して理解をいただいた結果だと考えている。今後もベルフォートの理念を大事に伝えていきたい。

(2) 学校運営

(山本敏裕氏)

コンプライアンス体制について、自己評価では心配の声があがっているがそのあたりの体制についてはなにか考えているか。

(学校)

いままで研修などはしておらず、日常の中で注意喚起を行っている程度。対学生、対教職員への接し方など、見直すべき点が多いと感じている。早急に学ぶ機会を設けたい。

(3) 教育活動 (4) 学習成果 (5) 学生支援

(山本敏裕氏)

国家試験の合格率についてはどうか。

(学校)

なかなか目標である 100%合格に到達することができず悔しい思いをしている。教員の指導は大変熱心で学生もよくそれに応えてくれている。対策の方法については常に見直していく必要があるが、多くの目で指導できるよう人員体制も強化し

ていきたい。

(山本照保氏)

離職の問題は美容業界に限らずだが、なかなか改善されない。サロンでも教育環境や就業環境の整備に力を入れているが、まだまだな部分もある。学校と協力しながらなんとか離職を防ぐ対策をしていきたい。

(学校)

離職の問題は、学校の課題の一つと感じている。サロンの方の授業や講話を通して職業観の確立に努力しているが、一定数早期離職が出ているのは把握している。学生の希望する職業や働き方を見極めながら就職指導にあたっていきたい。

(6) 教育環境

(山本敏裕氏)

感染症だけでなく、地震や台風などの災害が近年多くなっている。耐震等については施設の的に問題はないと思うが、在学中の災害の発生等万全の備えが必要だと思う。なにか対策をしているか。

(学校)

以前より入学前ガイダンス等で避難経路や災害時の連絡方法については説明を行っていることをお伝えしているが、備蓄品などの対策は十分でない。施設側と災害時の対策について確認し、早急に対応していきたい。

(7) 学生の受け入れ募集

(山本照保氏)

入学希望者はここ数年安定してきているが、先の離職の件とも関連するが将来美容業界で働くことの明確な意思の確認ができているか。

(学校)

ここ数年で美容業界での働き方や職種が大きく変わってきている。高校生は美容全般に興味があり、将来の自分の仕事として憧れだけで、明確にとらえられていないがそれは当然のことと考えている。高校生や保護者、高校に対して、美容業界の現状を正確に伝え、美容学校を卒業したらつける職業についてもパンフレットや説明をしっかり行っている。まずは美容に興味をもってもらうこと、そして入学して学んでみたいと思ってもらうこと、保護者や学校の先生に安心して美容学校への進学を薦めてもらえるよう教職員全員で努めていく。

(8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献

特になし。